

令和4年度（2022年度）

自己点検評価報告書

学校法人大東文化学園
大東文化大学附属青桐幼稚園

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 大東文化学園
大東文化大学附属青桐幼稚園

1.本園の教育目標

- ・園生活の中で自分らしくのびのびと活動できる子ども
- ・人の痛みがわかる思いやりのある優しい子ども
- ・美しいものに感動したり感性の豊かな子ども

2.本年度重点的に取り組む目標・計画

創立50周年記念行事を実施し、園を支えて下さっている方々に感謝し皆でお祝いをする。
感染予防対策を徹底しながら、コロナと共存しながら、より質の高い保育、行事の実施を目指し、子ども達に経験、成長の機会を提供し保護者と成長を共有し分かち合う。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：十分に成果があった B：成果があった C：一部成果があった D：成果がなかった

評価項目	評価	取り組み状況
		項目
1.教育活動の充実	A	プール、夕涼み会、ハロウィンパレード等、3年ぶりの行事の復活や保護者参加行事への取り組みを実施した
		<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の充実 ・コロナ感染症対策 ・感染症対策を踏まえた行事の充実
2.環境整備・構成	A	園庭の水はけの改良を行い、温度抑制チップ仕様の園庭改修工事を実施した
		<ul style="list-style-type: none"> 通園バス等の安全管理を徹底した ・園庭改修工事 ・危機管理、安全管理マニュアルの整備、改訂
3.保育の質の向上	A	保護者限定アプリで保育活動の様子を写真や動画で配信した 年長組前向き二人机設置 幼児教育の内容・方法の改善を行った 積極的に研修会に参加した
		<ul style="list-style-type: none"> ・園務システムの活用と充実 ・就学前教育の推進 ・研修会への参加

4.総合的な評価結果

評価 A：十分に成果があった B：成果があった C：一部成果があった D：成果がなかった

評価	理由
A	3年ぶりの行事の復活、保護者参加の機会を増やす事が出来た 通園バス等の安全管理の再確認、徹底を行った 園庭での活動時間の増加、前向き二人机を導入し就学前教育を推進した 書道教育・音楽教育が充実した お茶会・雛祭り会等の行事を通して、日本の伝統文化を継承した 幼児教育の内容・方法の改善を行い、教育の水準が向上した

5.今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1.研修・資質向上	積極的な研修会への参加
2.保護者との連携	アプリ機能を活用し、保護者との連絡、教育活動内容を配信し保育の「見える化」を実現及び安全管理の徹底を図る 保護者参加行事の更なる充実
3.教員の人材確保	保育活動、預かり保育、1号認定者への子育て支援、特別支援体制の整備、充実

6.学校関係者評価委員会の評価

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、一日の休園もなく保育活動を継続出来た事は大変素晴らしいと思う。

早朝から夕方まで預かり保育を実施する為の人員配置や確保も大変だと思う。

送迎バスの安全チェックも細かく行っており保護者の方も安心して利用出来ると思う。

親子で陶芸を体験し制作したお茶碗で、お茶会の際にお抹茶を頂く事、礼儀作法も学ぶ事が出来る経験は大変貴重で素晴らしいと思う。

大東文化といえば、書道が有名だが、幼稚園から書道を学び体験できることは素晴らしい。書道展への出展や、太筆を使った卒業制作の経験は子ども達にとっても自信に繋がると思う。漢字教育や言葉の教育、書道は、考える力や理解力、集中力を身に付ける事ができとても良いと思う。年長組の前向き二人机の設置など小学校入学に向けての取り組みも素晴らしい。

「環境」が子ども達を育てる。自然に学べる環境が整っている事は大変良いと思う。

創立50周年記念事業として園庭を温度抑制ゴムチップ舗装にしたことも大学附属という事で学園全体で園児の成長の為に予算を取る等さすがだと思ふ。園庭での活動時間や運動量の増加に繋がった事は大変素晴らしい。

昨年度の課題だった幼稚園車寄せ前の駐車については速やかに移動する様、保護者の方も意識して気を付けているのがわかる。

町内に素晴らしい幼稚園があることは喜ばしい。少子化の加速や保育園の増設で園児数が減少傾向にあり大変だと思うが、是非、青桐幼稚園の素晴らしい教育や設備を沢山の方に知って頂き是非入園して欲しいと思う。

引き続き安全管理を徹底し、特色ある青桐幼稚園の教育を今後も継続し子ども達の為に頑張って頂きたい。